

平成27年度の事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 まちづくりスポット

1 事業実施の方針

【交流スペースの利用促進に係わる事業】

交流スペースの周知を図るために地域の市民活動団体と協力して、イベントを開催するなど自主企画を行った。まちスポ飛騨高山に市民が気軽に立ち寄れる場所にしようと屋内外スペースに子どもが遊べるチョークやキッズスペースを設置した。

◇評価・課題：昨年度交流スペースの来館者数が減ったことにより、今年度は来館者数が増えることに注力。その結果イベント日・イベント日以外関係なく来館者数が増え、開館以来初の1万人を越える来館者があった。それに伴う市民活動の登録も増えた。

【まちづくりの推進に係わる事業】

①地元金融機関と連携し、都市部の学生に飛騨の中小企業の社長の右腕として、経営改善や新規プロジェクトに取り組んでもらう実践的なインターンシップを実施した。

◇評価・課題：昨年度に比べ受け入れ企業が増えたことで、多くの学生が高山市に訪れた。大学との直接のネットワークがないので、学生集客を強化するために大学との関係構築をしていく必要がある。

②若者の声が政策に反映されていないとの行政の悩みを知り、若者の声をまちづくりに反映するために、ワールドカフェの手法を用いて意見を引き出した。それをまとめ、新たなネットワーク形成の種を作り、若者のまちづくりへの参加を促した。

◇評価・課題：3年目になり、参加者が固定化しつつある。一方で今年度は地域の事業者と連携し、店舗で話し合いの場を作ったことで新規の参加者も増えた。

③特定の自治体の5歳～12歳までの子ども達を対象にした職業体験イベントを行うための組成とイベント実施のための運営支援を行った。

◇評価・課題：職業体験イベントを通して、子ども達の地域の職業への関心が高まった。また、保護者からは地域の仕事を子ども達が知れるきっかけがあるのが嬉しい。来年以降も続けてほしい。という声があがっていた。来年度以降、今年度実施した自治体以外でもイベントを開催したいという自治体を探ることが課題である。

④高山市のスーパーと65歳以上の高齢者を対象にした買い物送迎ボランティアグループのマッチングを行い、スーパーが発行する買い物で困っている方に向けた市内買い物サービス情報をまとめた冊子作成を支援した。

◇評価・課題：作成支援した冊子は各種広報媒体で取り上げられ、一事業者が自社のサービスを紹介するだけではない事例を作った。冊子を必要としている人の手元に届くようにするための拡散を引き続き検討していく必要がある。

【ネットワーク事業】

①大手企業と地域のNPOのコーディネートをし、地域課題を解決するNPOとコミュニティスペースを組成する支援を行った。また、中間支援NPOの事務局運営や経理のアドバイスをし、組織基盤強化の支援を行った。

◇評価・課題：企業と連携し、兵庫県神戸市での中間支援NPOの研修会開催の支援。北海道恵庭市の中間支援NPO法人の立ち上げとアドバイス業務。佐賀県鳥栖市でのNPO法人立ち上げに伴う、人材の選定と地域課題を洗い出す研修を行った。

②大手企業と協働し、岐阜市の太陽光発電事業にともなう地域住民への環境教育プログラムを実施した。

◇評価・課題：連携し研修を行うNPO団体が一人で教育プログラムを実施しており負担が集中

している。一緒に実施できる担い手を探し、分業できることを検討していく必要がある。

【人材育成及び研修に係わる事業】

①交流スペースで運営の相談や、飛騨地域への市民活動団体へのNPO法人化のアドバイスをを行った。また市民活動団体の合意形成を図るワークショップや、外部講師を招いた講演を行い、団体活性化のための支援を行った。

◇評価・課題：NPO相談件数が昨年度に比べ、NPO活動をはじめたい、交流スペースを使って活動を広めたいなどの相談が年間40件程増えた。来館者数が増えたことが要因。また相談の中から新しく2団体がNPO法人となった。

まちスポでの研修、インターンや視察を受け入れた。今年度4人の学生をインターンシップとして受け入れた。視察では12団体の視察があり、過去最高であった。遠くは海外、韓国の都市計画学会からも視察があった。

②飛騨地域のNPO団体に対し、まちスポに集まった寄付金を原資に、新しい活動を始めるための後押しとなる助成金の交付を行った。

◇評価・課題：今年度の助成金審査会では、7団体がエントリーし5団体に交付した。また昨年度、助成金申請についてどの事業に使うか明確になっていない書類が多かったという課題があり、今年度は申請書類の書き方を学ぶ機会を作った。来年度も継続し、助成金申請の前には勉強会を開催していきたい。

【広報活動に係わる事業】

チラシ作成やホームページ、ソーシャルネットワークサービスなど各種媒体を利用し、イベントや活動の報告などを行った。3日に1回程度フェイスブックを配信、新聞・雑誌等への掲載69件。毎月会報を発行した。また外部からの依頼に対して、積極的に応え広報活動を行った。

◇評価・課題：昨年度に比べメディアでは市内ローカルテレビへの出演が2件から7件に増えている。定期的にテレビでPR出来る機会が作られたこともあり、市内での認知度は高くなっている。その結果、まちスポに関心を持つ市民が増え来館者数は上昇。また賛助会員は昨年比72件増えている。

平成28年1月からインターネットを使いクリック数に応じて溜まったポイント数が寄付金に換金されるサービスを始めた。それにより、まちスポに関心をもち寄付に協力する市民が増えた。

【その他本法人の目的を達成するために必要な事業】

当法人の主催もしくは係る事業の視察・研修に携わる学生やボランティアへ場所の提供を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
① 交流スペースの利用促進に係る事業	地域の市民活動を行う市民やNPO法人の交流スペース利用促進事業 【自主企画】 気軽に立ち寄れる交流スペースの運営とまちづくりスポットの活動やNPO団体の活動を周知した。	(A)年5回 (B)交流スペースまちスポ飛騨高山 (C)5人	(D)一般市民 (E)494人	410

	<p>【利用団体】 地域の市民活動をしている人や NPO 法人のスタッフに交流スペースの提供を行った。</p>	<p>(A) 通年 (B) 交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C) 5 人</p>	<p>(D) 交流スペース利用 団体 (E) 33 団体</p>	894
② まちづくりの 推進に係る事業	<p>多世代交流の場づくり 多世代交流を促しまちづくりへの参画を増やすための場作りを行った。</p>	<p>(A) 年 16 回 (B) 交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C) 3 人</p>	<p>(D) 一般市民 (E) 126 人</p>	409
	<p>若者を対象としたまちづくりの促進を図る事業 飛騨地域における若者の意見を抽出し交流の場を提供した。</p>	<p>(A) 年 4 回 (B) 交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C) 5 人</p>	<p>(D) 飛騨地域 在住の 20 ～30 代の 若者 (E) 68 人</p>	510
	<p>中小企業活性化支援事業 人材不足に悩む中小企業に対し、UIJ ターンを望む人材・地方に関心のある人材とのマッチングを行った。</p>	<p>(A) 通年 (B) 6 企業、4 農家 (C) 5 人</p>	<p>(D) 地元企業、農家、 高山市、 大学生 (E) 300 人 (内、大学生 282 人)</p>	3,520
	<p>コミュニティビジネス、新規事業の立ち上げ支援 特定の自治体の子ども達を対象にした職業体験イベントを行う組成と運営支援を行った。 また、市内企業と買い物支援ボランティアグループのマッチングを行い、買い物弱者に向けた買い物サービス冊子の作成支援を行った。</p>	<p>(A) 年 3 回 (B) 高山市新宮校区 (C) 5 人</p>	<p>(D) まちづくり協議会、小学生、企業、PTA (E) 170 人 (内、小学生 123 人)</p>	582
③ ネットワーク 事業	<p>企業との協働ネットワークづくり 大手企業と地域の NPO が協働し、地域課題を解決する NPO とコミュニティスペースを組成する支援を行った。また、岐阜市の太陽光発電事業にともなう地域住民への環境教育プログラムを実施した。</p>	<p>(A) 通年 (B) 全国 (C) 5 人</p>	<p>(D) 大手企業、NPO 団体 (E) 多数</p>	3,956

	<p>NPO・市民活動団体との協働ネットワークづくり 企業と協働するNPO団体 同士の連携と組織力の向上をはかる研修を開催した。</p>	<p>(A) 通年 (B) (C) 5人</p>	<p>(D) NPO 団体 (E) 6 団体</p>	1, 471
	<p>行政との協働ネットワークづくり 行政と協働し、NPO と自治会の協働等を学ぶフォーラムでパネルディスカッションのコーディネーターを行った。</p>	<p>(A) H27/11 (B) 高山市役所市民ホール (C) 2人</p>	<p>(D) 高山市、まちづくり協議会、NPO 団体、一般市民 (E) 約 100 人</p>	13
④ 人材育成及び研修に係る事業	<p>まちそだて相談 市民活動団体や NPO 法人に対する相談業務を行った。</p>	<p>(A) 通年 (B) 交流スペース まちスポ飛騨高山 (C) 5人</p>	<p>(D) 一般市民、NPO 団体 (E) 191 人</p>	203
	<p>インターンの受入れ 新たな地域づくりを担う若者の育成を目的に、日本人大学生及び留学生を受け入れた。</p>	<p>(A) 随時 (B) 交流スペース まちスポ飛騨高山、高山市 (C) 5人</p>	<p>(D) 日本人大学生、留学生 (E) 4人</p>	695
	<p>専門講師による講座・研修の開催 外部講師を招き NPO 団体、市民などに向けたソーシャルビジネス、NPO と自治会の協働等を学ぶ講演会を開催した。</p>	<p>(A) 年 3 回 (B) 交流スペース まちスポ飛騨高山 (C) 5人</p>	<p>(D) NPO 団体、企業、一般市民 (E) 45 人</p>	223
	<p>視察の受入れ 地方自治体や企業、NPO、大学などからの視察の受け入れを行った。</p>	<p>(A) 通年 (B) 交流スペース まちスポ飛騨高山 (C) 5人</p>	<p>(D) 地方自治体、NPO、企業、大学 (E) 12 団体</p>	155
	<p>研修・講演の開催 企業と NPO の協働方法や地域づくりのノウハウを伝えるための研修や講演を開催した。</p>	<p>(A) 年 4 回 (B) 高山市内、大阪市、盛岡市 (C) 3人</p>	<p>(D) NPO、企業、一般市民 (E) 多数</p>	117
	<p>まちスポ飛騨高山助成金 飛騨地域の NPO 団体に対し、新しい活動を始めるための後押しとなる助成金の交付を行った。</p>	<p>(A) 通年 (B) 交流スペース まちスポ飛騨高山 (C) 5人</p>	<p>(D) NPO 団体 (E) 5 団体</p>	278

⑤ 広報活動に係る事業	会報の発行、チラシやポスター、ホームページ、SNSなど各種媒体を利用し、イベントや活動の報告などを行った。また、活動紹介VTR制作に取り掛かった。	(A)通年 (B)交流スペース まちスポ飛騨 高山 (C)5人	(D)一般市民、会員 (F)多数	3,722
⑥ その他、この法人の目的を達成するために必要な①から⑤までの事業に付帯する事業	当法人の主催もしくは係る事業の視察・研修に携わる学生やボランティアへ場所の提供を行った。	(A)H28/1~3 (B)高山市内 (C)4人	(D)大学生 (E)6人	698

3 その他

平成27年度 各種委員会及び会議等への派遣

○竹内 由美子 高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会 委員

高山市市民活動事業補助金審査員

岐阜大学地域協学センター 地元コーディネーター

○田邊 友也 高山市政策検討市民委員会 委員

NPO法人ぎふNPOセンター 正会員

NPO法人まちづくりスポット恵み野 正会員